

シビックプライド醸成拠点等民間活力導入業務 公募型プロポーザル 現地説明会

令和5年5月9日（火）

津島市都市計画課マスタープラン推進室

事業対象地と周辺エリア

令和3年度に策定した津島市都市計画マスタープラン及び津島駅周辺まちづくり構想に基づき、今ある地域資源を活用して都市の再生（リニューアル）を行い、「住む人に加え、働く人、遊ぶ人など時間を過ごす人が絶えることなく持続的に存在するまち」を目指している。



津島神社

1450余年の歴史があり、年間で約100万人の参拝者が訪れる。現在、津島神社周辺エリアにて観光ターミナルとして、整備後は飲食店、売店、観光案内所、展示施設などの整備を検討中。



天王川公園

天王祭や藤まつりの舞台となり、市民の憩いの公園である。Park-PFIにより、2023年よりスターバックス開業、四季で楽しめる花の植栽など民間活力が導入されることが決定している。

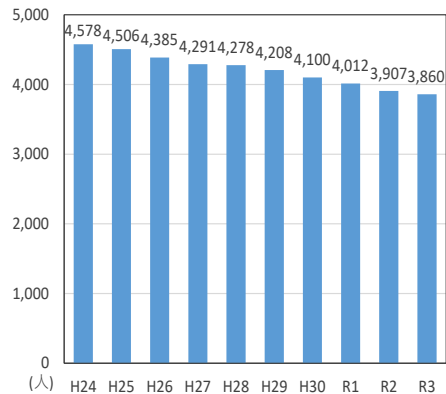


事業対象地と周辺エリア

(1) 人口の動向

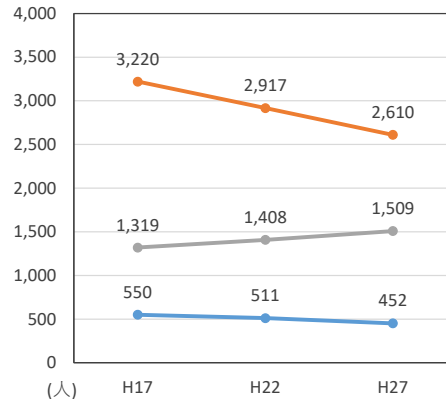
- ✓ 対象エリアでは、市全体の動向と同様に人口減少が進行している。
- ✓ 特に、今後のまちづくりを支えていく年少世代（15歳未満）と生産年齢世代（15～64歳）の人口が減少している。

■人口の推移



資料：住民基本台帳（各年4月1日現在）

■年齢区分別人口の推移



● 15歳未満 ● 15～64歳 ● 65歳以上

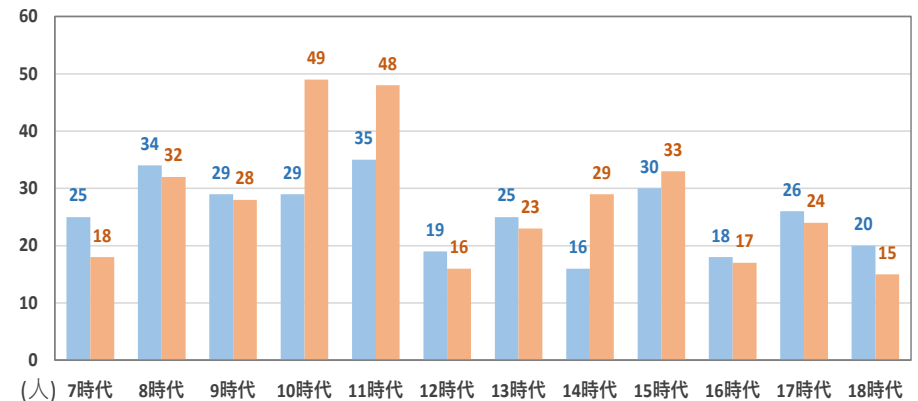
資料：国勢調査

今後のまちを担う世代が減少している

(2) 天王通りの人通り

- ✓ 対象エリアの東西軸を形成している天王通りの歩行者数は、平日・休日ともピーク時間帯で1人/分未満であり、少ない状況。
- ✓ そうした中でも、平日は、通勤・通学時間帯と11時ごろが多く、休日は10～11時台が多くなっている。

■天王通り(本町筋との交差点)の東西方向の12時間歩行者交通量 (R3.2)



■ 平日(306人) ■ 休日(332人)

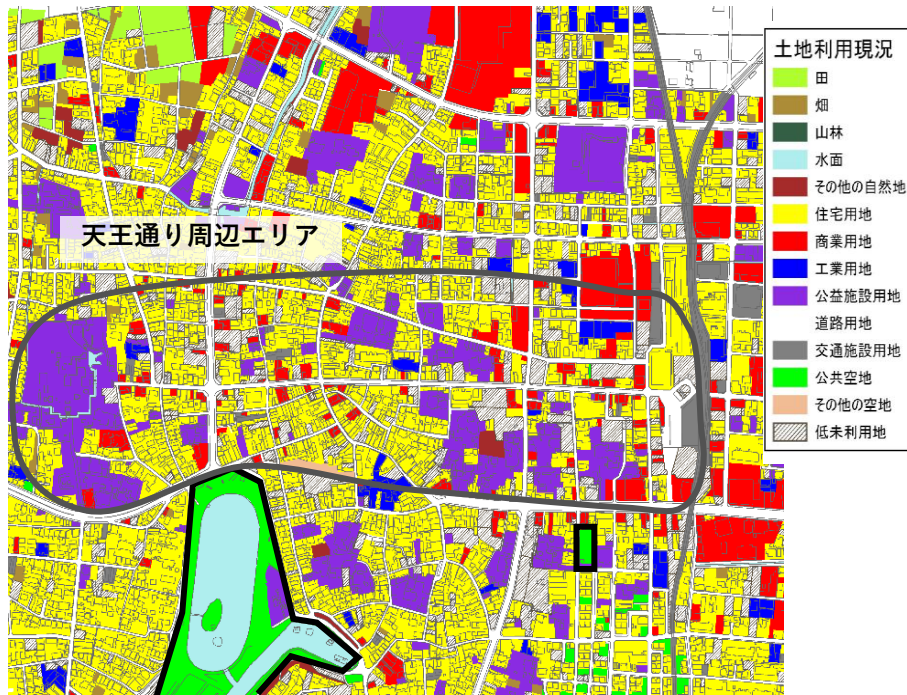
資料：津島市資料

日常のまちなかは、ひとけがまばら

事業対象地と周辺エリア

(3) 周辺の土地利用

- ✓天王通り周辺は、主に商業系の用途地域に指定されているが、土地利用は主に住宅用地となっている。
- ✓公共空地である公園は、天王通り沿線の対象エリア内では整備されていない。



公園等の快適な交流空間が不足している

(4) 多様な地域資源

- ✓対象エリア周辺には、地域や市民によって育まれてきた、県内でも有数の集客力のある歴史・文化的資源が残っている。

尾張津島藤まつり



尾張津島天王祭



尾張津島秋まつり



茶の湯文化



本町筋



重要文化財 堀田家住宅



市民に育まれてきた貴重な歴史・文化資源や祭事・催し物がある

事業対象地と周辺エリア

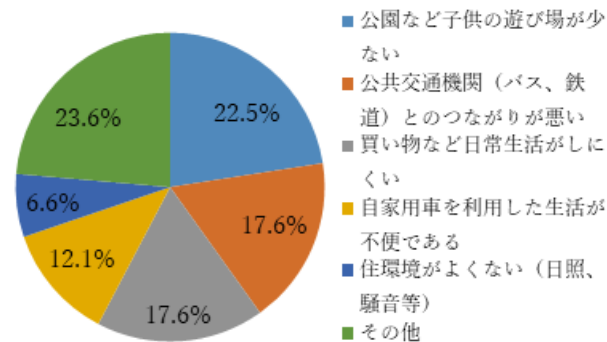
(5) 市民ニーズ

①天王通り周辺のまちづくりアンケート調査

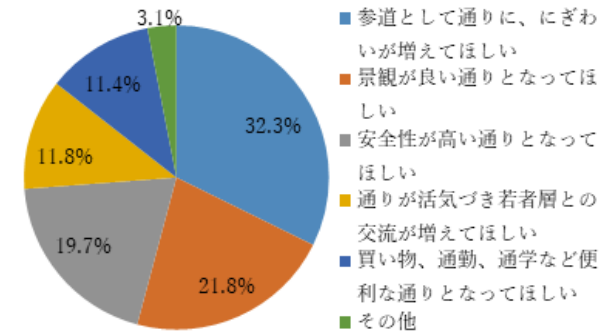
【平成30年10月 沿道の住民等（配布：361票、回収129票）】

- ✓ 現在の不満として、「遊び場が少ない」「公共交通機関とのつながり」「買い物が不便」が多い結論となりました。
- ✓ 今後は、「にぎわい」「良い景観」「高い安全性」の順で高く期待されています。

■天王通りの不満



■期待する天王通りの将来の姿

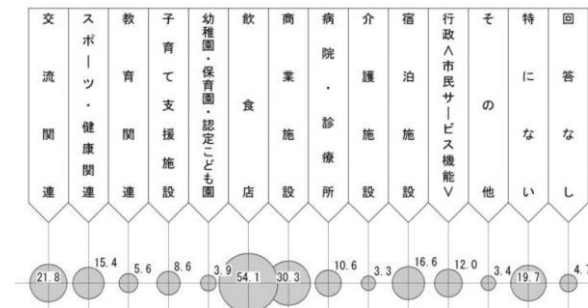


②津島市市民意識調査

【令和元年5月 18歳以上の市民（配布：2,000票、有効回答945票）】

- ✓ 「飲食店」が54.1%と回答比率が最も高く、「商業施設」が30.3%、交流関連が21.8%と続いています。

■名鉄津島駅周辺に立地して欲しい機能

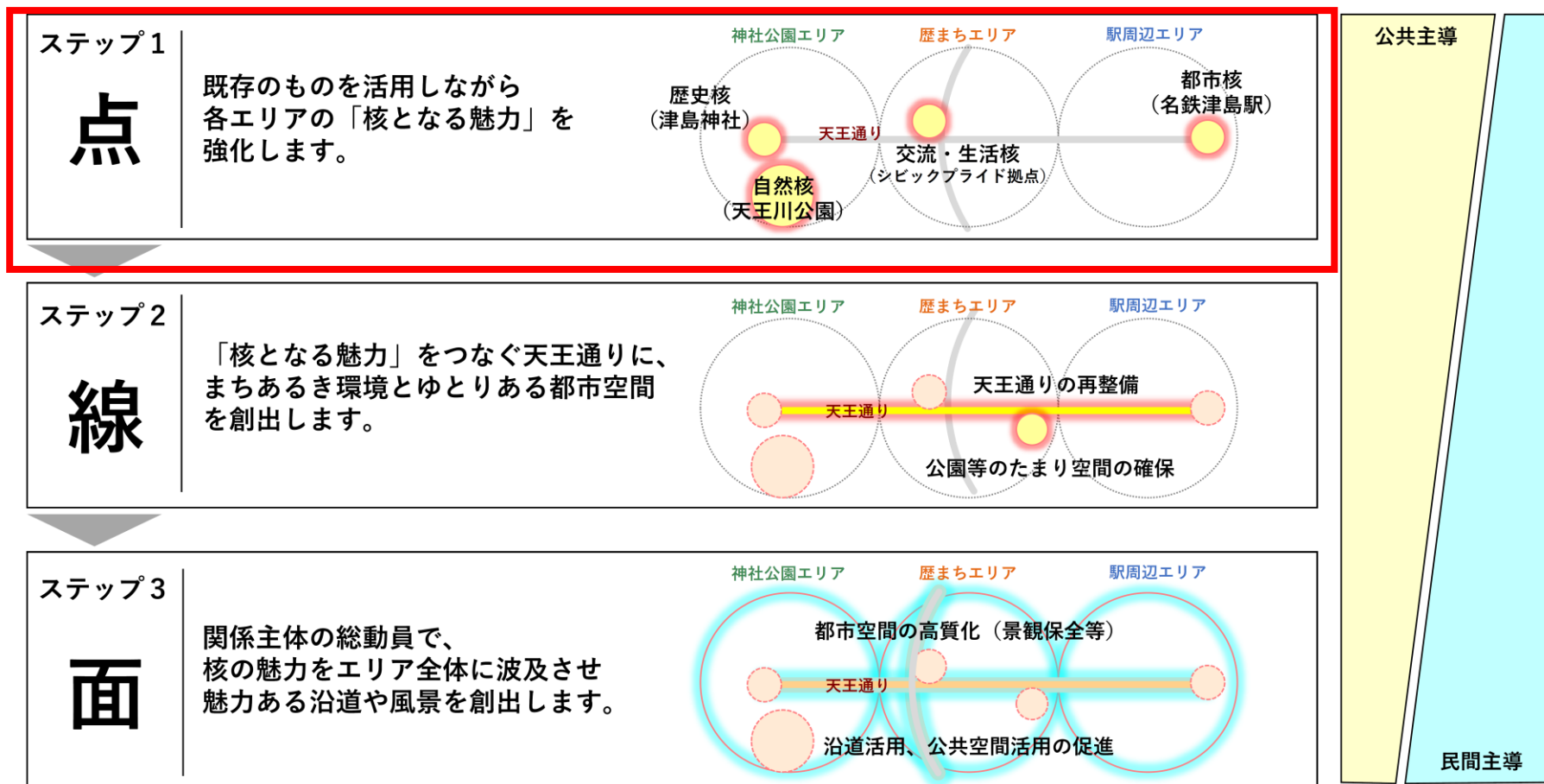


飲食店や商業施設、交流施設の立地や地域の景観・安全性の向上が求められている

まちづくりの方向性

■ 戦略的な取組み（実施ステップ）

継続的なまちづくりを行うため、**市が投資主体**となり、今すぐ取り組めるものをはじめ、**段階的にまちづくりを発展**させる。



まちづくりの方向性

■ ステップ1（点）の重点施策

既存ものを活用しながら各エリアの「核となる魅力」を強化します。

施策 1-1

天王川公園へのPark-PFI活用等による
多目的利用の促進

公園全体の魅力向上及びまちなかの回遊性の向上

施策 1-2

堀田家住宅と一体となった
観光ターミナル機能整備

西の玄関口となる拠点整備

施策 1-3

観光交流センターの機能拡充
(シビックプライド醸成機能整備)

地元、市民の日常の集いの場としての機能拡充

施策 1-4

まちなかの憩いの場の創出

地元、市民の日常の集いの場の整備・機能拡充

施策 1-5

(都)橋詰見越線の整備

各拠点施設への安全なアクセス経路の確保

施策 1-6

駅前広場の再整備

交通空間の利便性向上と環境空間の高質化



シビックプライド醸成拠点について

■ ターゲット

主な利用者ターゲットを「これからのまちづくりを支える若者」とし、そのほか子連れの家族、市民活動団体の利用も想定。

■ 津島市内の学生・若者・市民活動団体

小中学生

- ・副読本による郷土学習
- ・放課後子ども教室など、課外学習
- ・尾張津島天王祭をはじめとする、地域の祭りへの参加



←尾張津島天王祭の屏風の鑑賞の様子

市内外の高校に通う高校生

- ・授業や部活でのフィールドワークによる市内散策
- ・尾張津島天王祭の英語でのアナウンス
- ・地元企業との地域イベントへの参加



←地元企業との地域イベントで、津島神社にプロジェクトアクションマッピング

市民活動団体

- ・ガイドボランティアやおもてなしコンシェルジュなどによる市内外の人への観光、歴史、産業の案内

無印良品ヨシヅヤ津島本店

- ・市内初出店
- ・働くスタッフ（約50名）のほとんどは市内在住の若者

スターバックス津島大坪店

- ・市内初出店
- ・働くスタッフ及び客層は若者が多い

- ✓ 津島の歴史や魅力に触れる機会が多い
- ✓ 市民活動団体が自主的に津島の魅力を市内外の人に伝える活動をしている
- ✓ 誰もが知っており、オシャレで都会的な店舗があれば客として訪問し、働く若者はいる

シビックプライド醸成拠点について

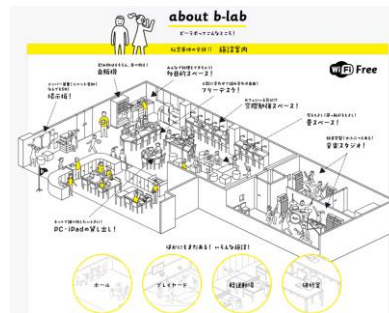
■ 市が考えるシビックプライド醸成拠点のイメージ

- ✓ ふらっと気軽に立ち寄れる公共スペース
- ✓ 学生や若者が授業、部活、課外活動、さらには日常で友達や仲間と楽しく話し合いながら勉強や作業をしたり、仕事ができる場所
- ✓ 子どもや親が安心して遊び、学べる場

(参考事例)



飛騨市まちづくり拠点node(ノド)



文京区青少年プラザb-lab (ビークラ)



丸亀市市民交流活動センター
マルタス



岐阜市 シビックプライドプレイス
(みんなの森ぎふメディアコスモス内)

①学生、市民活動団体、「津島のファン」が津島を知り、より好きになる

②地域のために何かやりたくなる

③普段、日中を名古屋で過ごしていた若者が津島で過ごす時間が増える

➡ 関係人口の増加

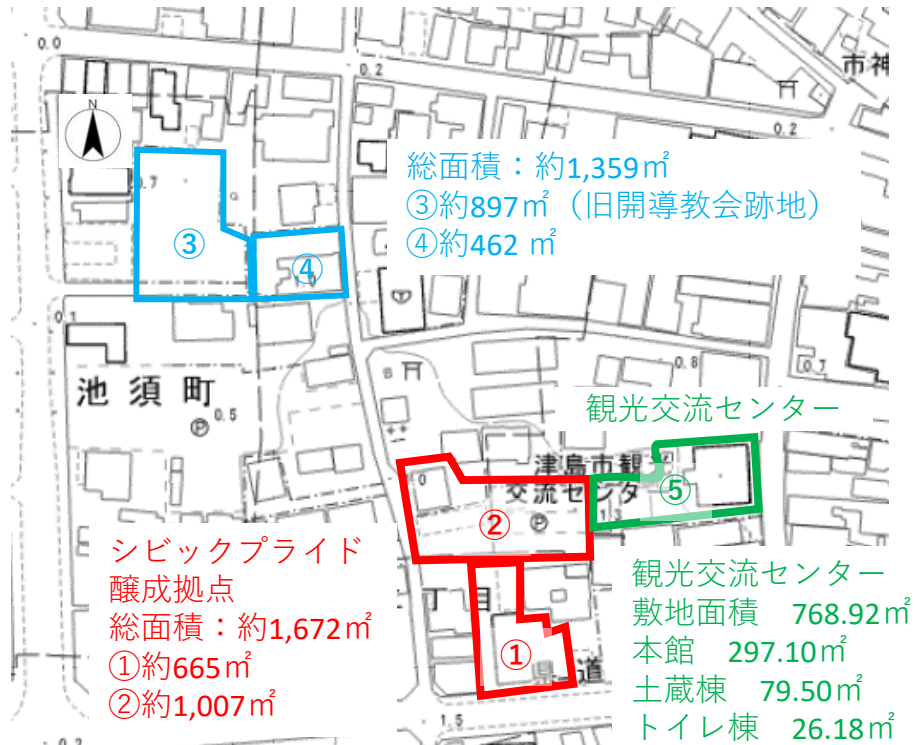
➡ 市内滞在時間の増加

その結果、シビックプライド（津島に対する愛着とまちづくりの当事者意識）が醸成される

シビックプライド醸成拠点及びまちなか交流広場整備事業について

■ 事業概要

- ①旧いちい信用金庫…改修を行い、⑤観光交流センターと共にシビックプライド醸成のための新たな拠点として整備を行う。
- ②北側隣接地…①と⑤を繋ぐ緑のオープンスペースとして、パティオ風広場として整備を行う。
- ③旧開導教会跡地及び④隣接地…デジタルを活用した歴史文化交流施設、収益施設、交流広場の整備を行う。



現指定管期期間 R8.3.31まで

シビックプライド醸成拠点 配置図

事業対象地について

土地：約665m²

建物：鉄筋コンクリート造陸屋根
3階建(検査済番号有、済証なし)

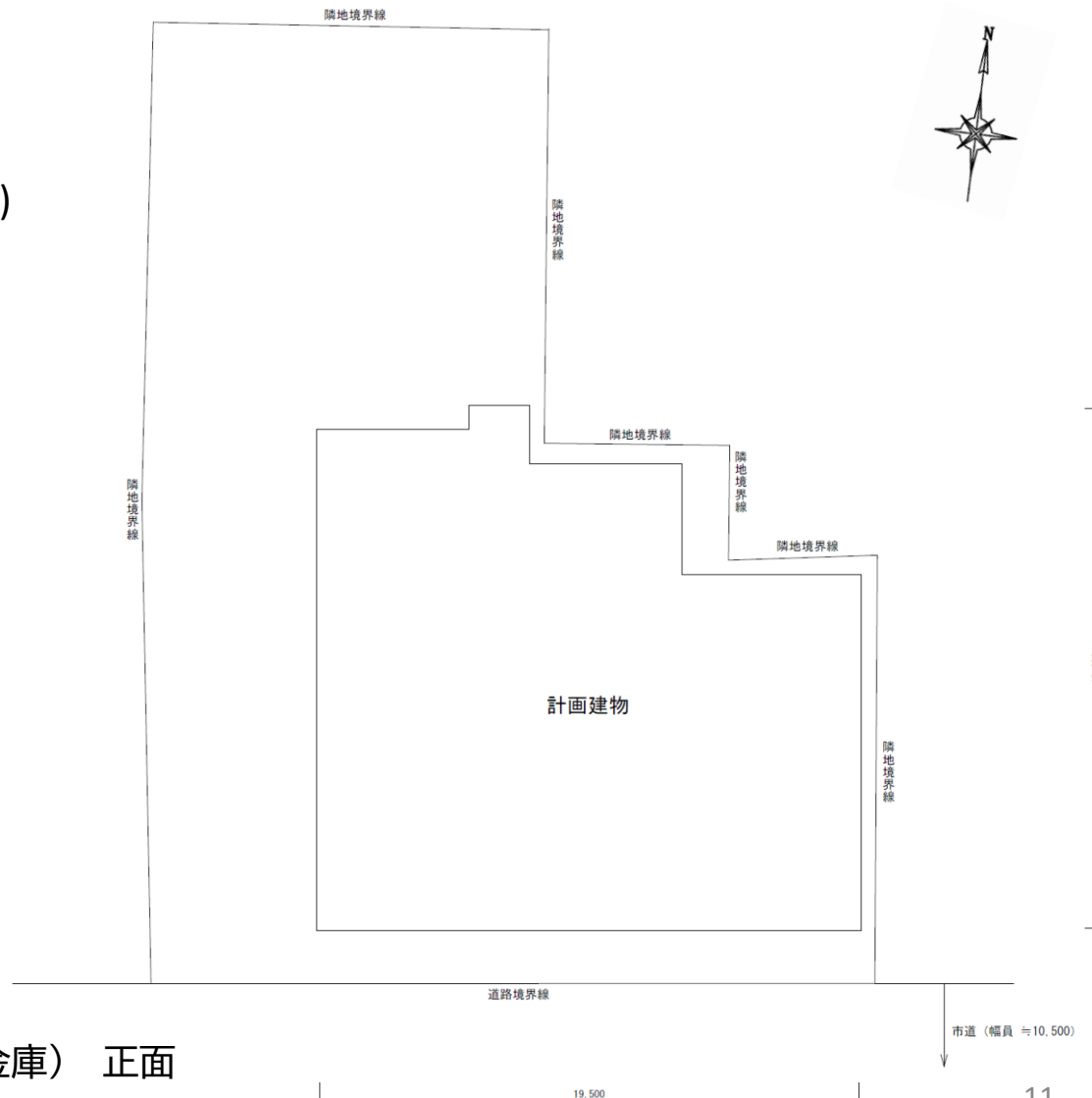
昭和63年(1988年)築

延べ床面積 787.49m²

新耐震基準



シビックプライド醸成拠点(旧いちい信用金庫) 正面



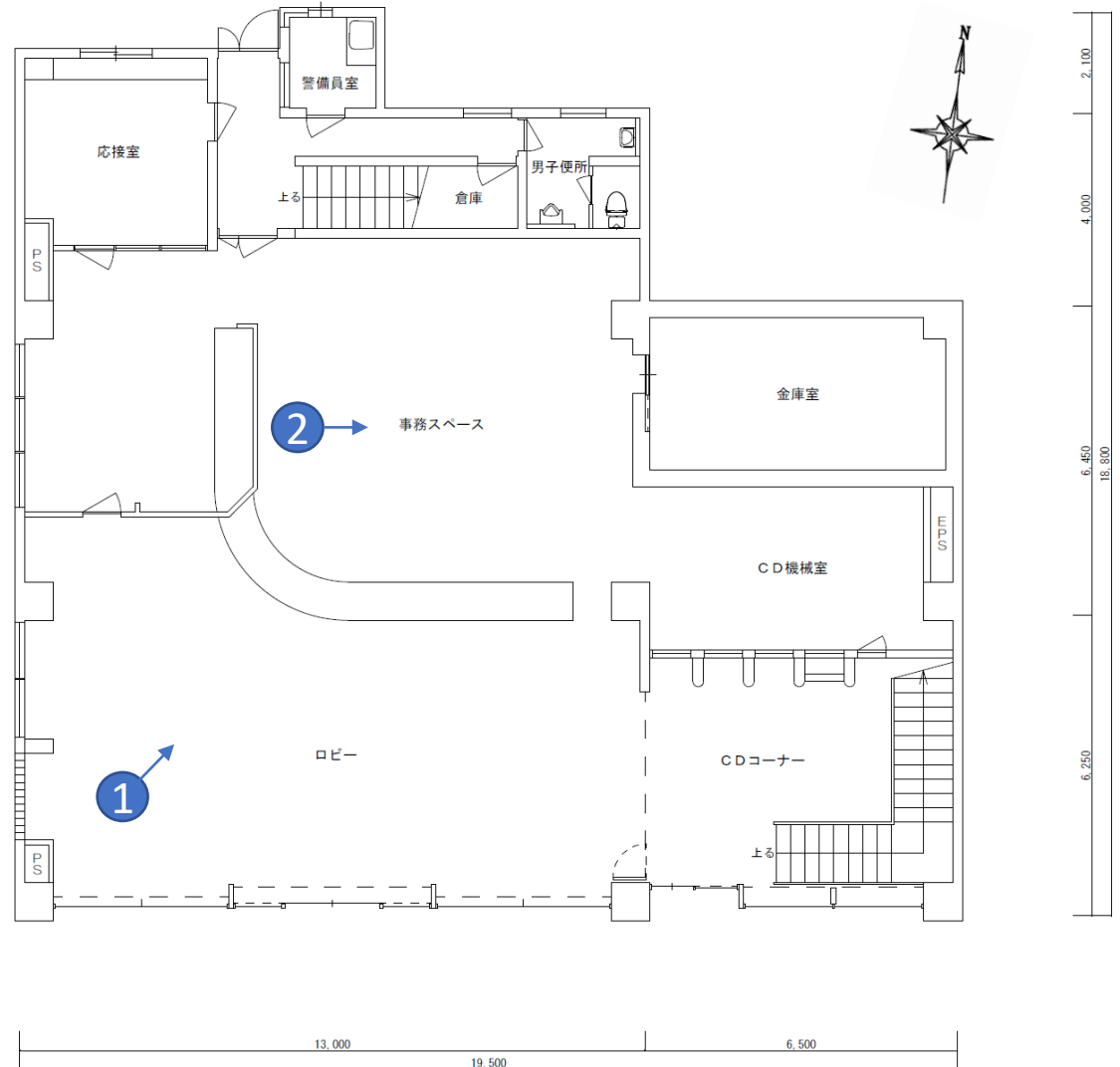
シビックプライド醸成拠点 1階平面図



①1階 ロビー



②1階 事務スペース



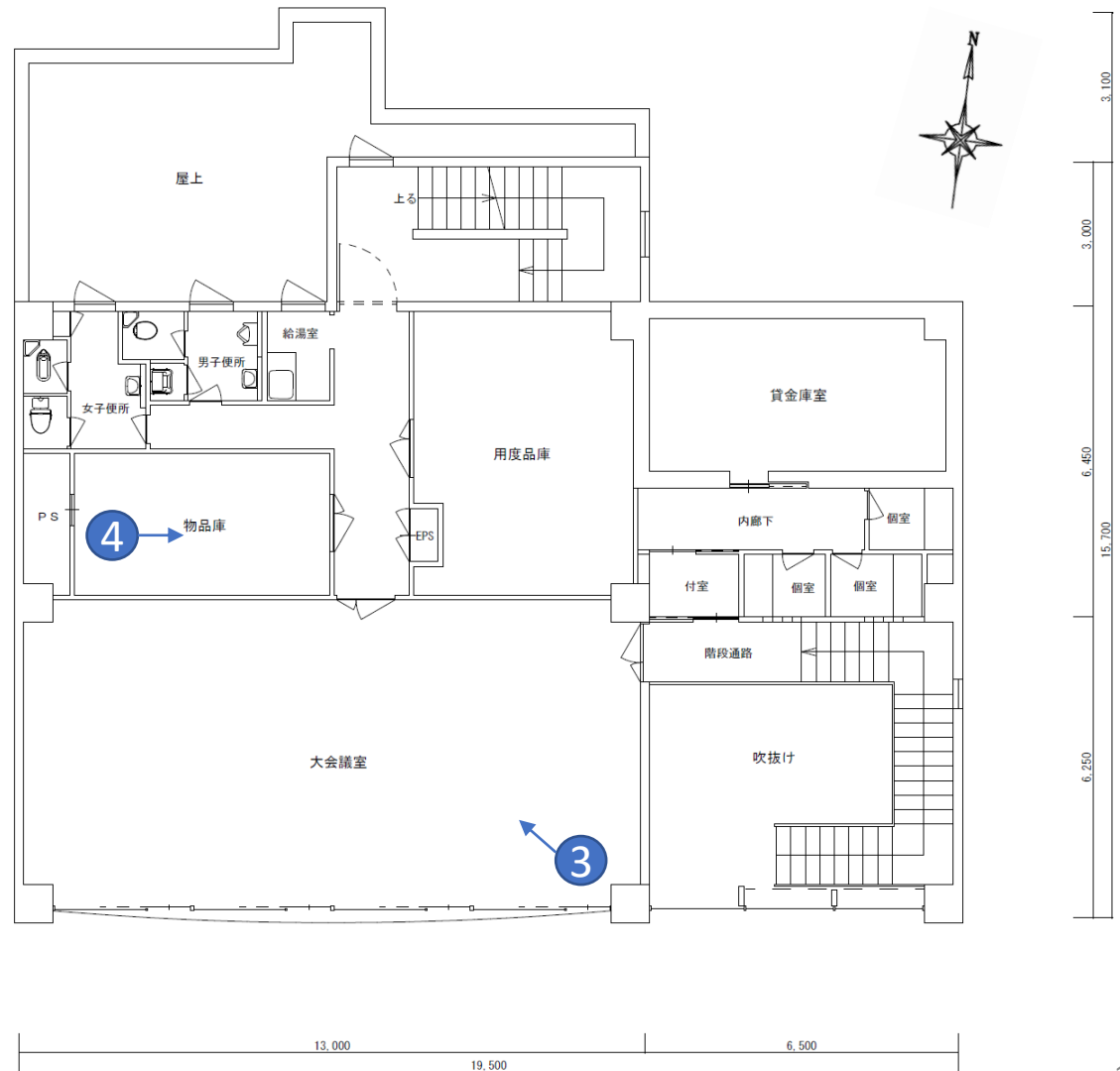
シビックプライド醸成拠点 2階平面図



③2階 大会議室



④2階 物品庫



シビックプライド醸成拠点 3階平面図



⑤3階 食堂



⑥3階 小会議室



シビックプライド醸成拠点 屋上



⑦



⑧



屋上を真上から見る



屋上から天王通りを見る



屋上から北東市街地を見る

シビックプライド醸成拠点 北側隣接地

■ 駐車場：約1,007㎡

※令和5年度にカーポートを解体予定

※敷地全部を駐車場にすることはできない



北側隣接地の現況



シビックプライド醸成拠点 北側隣接地

■ 建物

敷地面積：139.76㎡

建築面積：66.25㎡

木造平屋

平成18年（2006）築



まちなか交流広場

事業対象地について

総面積：約1,359㎡

①約897㎡（旧開導教会跡地）

②約462㎡

想定導入機能について

- ・ デジタルを活用した
歴史文化交流機能
- ・ 飲食・物販などの収益機能
- ・ 広場などの交流機能

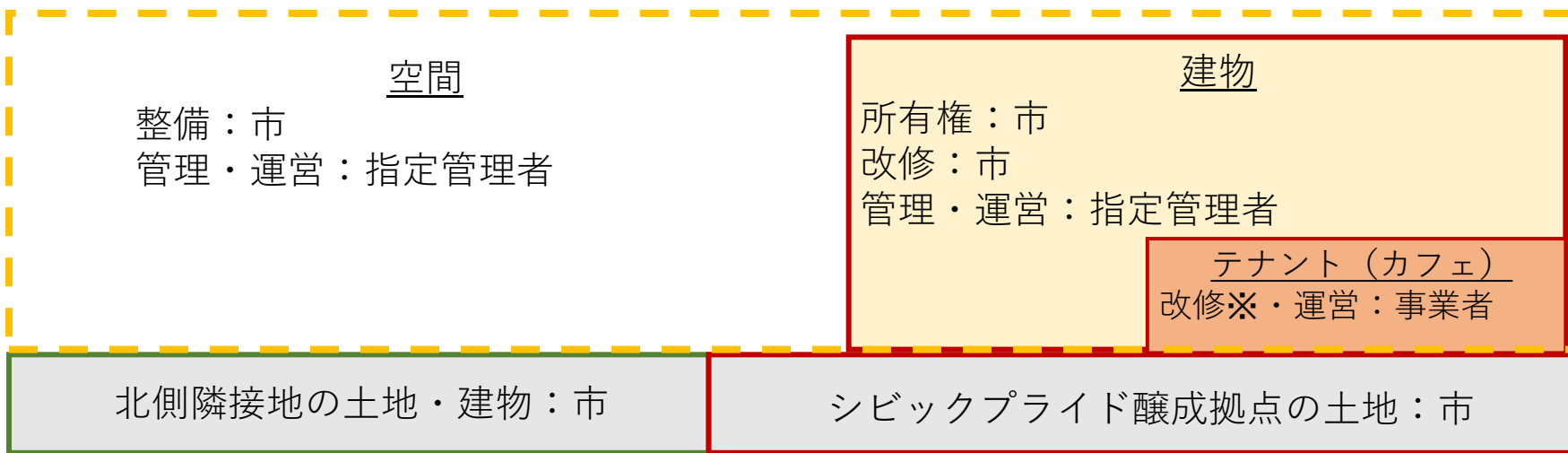


シビックプライド醸成拠点及びまちなか交流広場の整備に向けて

②事業手法検討

■ 整備・管理・運営の検討

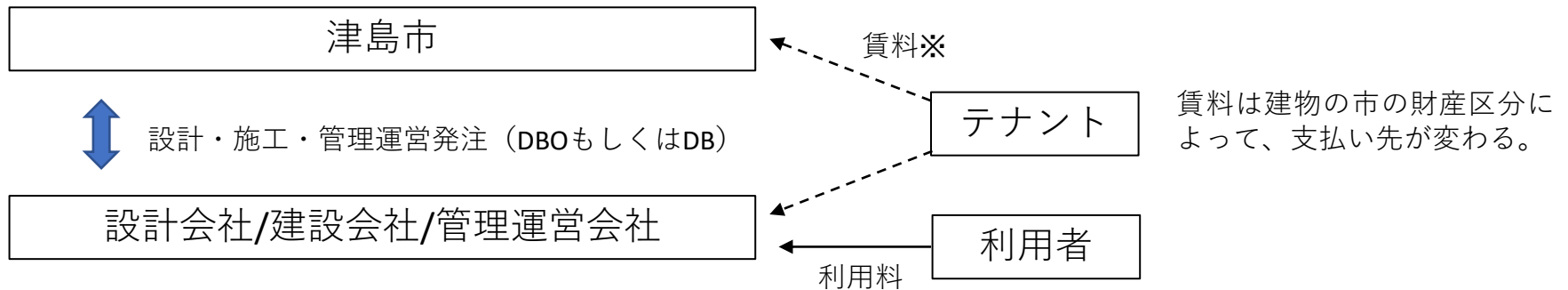
※現時点での想定



【権利関係】

※カフェの改修について、最低限の部分設備（シンク等）は市で改修することも検討。

■ 事業スキーム（想定）



参考事例 社会実験時の様子（10月29・30日実施）①

令和4年10月29日（土）、30日（日）に津島駅前社会実験を開催し、シビックプライド醸成拠点となる建物で高校生による演劇等の発表、毛織産業に関する展示、鉄道ゲームの体験会などを実施し、2日間で約14,000人（社会実験エリア全体）が来場した。



チラシ



アンケート受付



市内高校生による
部活動・演劇発表



鉄道ゲーム体験会



無印良品や地元出店者による
飲食・物販

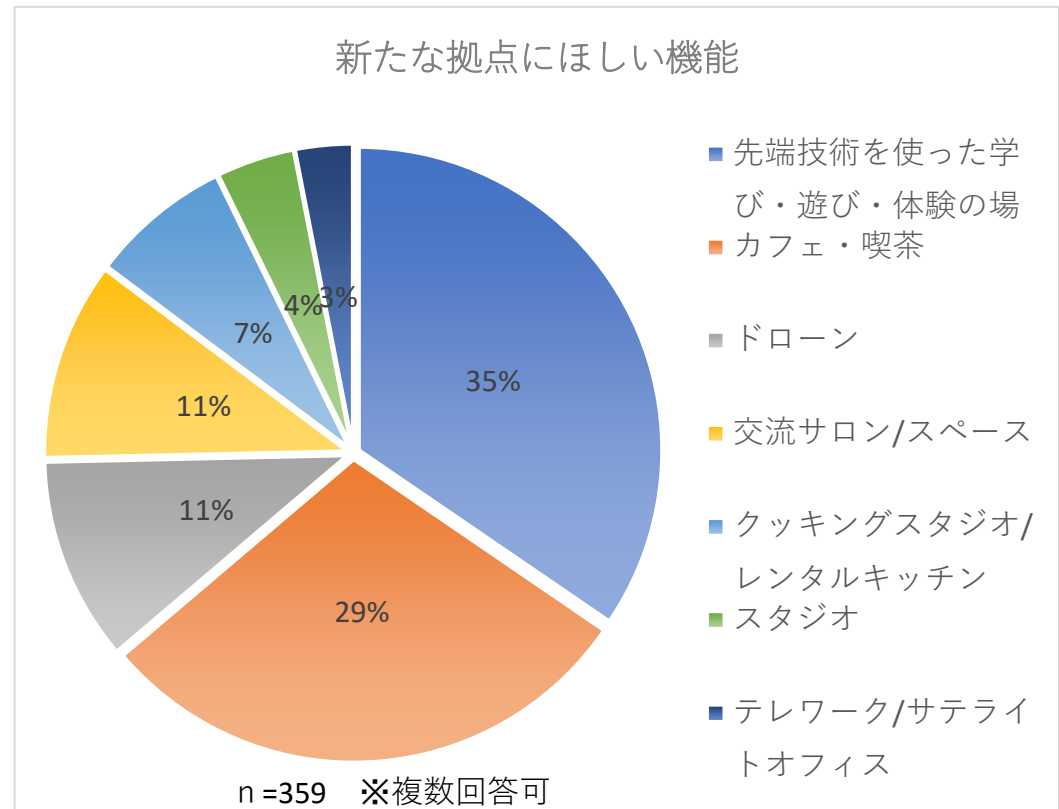
参考事例 社会実験時の様子（10月29・30日実施）②

■ アンケートボード

シビックプライド醸成拠点となる建物（新たな拠点）について、当該建物にほしい機能にシールを貼るアンケートボードを設置。年代を「10～20代」、「30～40代」、「50代以上」の3つに分け、回答してもらった。



アンケートボード



✓ どの年代も「先端技術を使った学び・遊び・体験の場」、「カフェ・喫茶」の順で回答が多かった。

今後のスケジュール

■ 今後のスケジュール

令和5年度：基本計画の策定

市民参加型のワークショップ

トライアルサウンディング

津島駅前社会実験「えきまえVIP」の開催

設計・施工事業者選定のための募集要項等の作成

名古屋国際工科専門職大学とのフィールドワーク

令和6～7年度：事業者の募集・選定／設計・施工

指定管理者の募集・選定

令和8年度：供用開始